

平成 27 年版刊行の辞

今年度、編集者が担当した演習は 2 年次と 3・4 年次の演習である。基本的にはこれらの履修者の内から昨年度までと同様のやり方で寄稿者を選抜または募集をした。

ただ今年度は昨年度まで帝京大学で一緒に仕事をさせていただいた隅谷史人講師（流通経済大学）のご紹介でその元ゼミ生の卒業論文を同先生のご指導の下で掲載できることになった。元々、このゼミ論集は編集者の演習履修者から始めて広く学部生の成果公表の場にする意図で始めたものであったから、この申し出は大変にありがたいものであった。

それからこのゼミ論集も今年度で 3 年目であり、編集者が帝京大学に赴任した平成 25 年度から 3 回とも寄稿をしてくれた佐藤朗君には、3 年間の経験と成長に鑑みて編集に加わってもらい、一部寄稿者に対する添削指導をしてもらった。今年度は諸々の事情でゼミ論編集作業に割ける時間が不足していたので、同君には大変助けられた。

なお今年度版もこれまでと同様に指導をした者なりの模範を示す観点から編集者の論文も最後に収録させてもらった。前年度版の続編である。

最後に今年度版もこれまでと同じく、帝京大学から資金的援助をしていただき、また夢工房の片桐務さんには今年も大変お世話になった。ここに心からのお礼を申し上げる。

帝京大学法学部法律学科助教 池田雄二